

2/17 (金) 消防ポンプ自動車を更新



消防署に配備する消防ポンプ自動車を、防衛省周辺消防施設設置事業の補助を受けて最新鋭の車両に更新しました。約20年ぶりに導入した車両は最新の泡消火システムが備えてあり、泡で燃えているものを覆い消火します。その泡は天然油脂を成分としていて環境にも優しく、有害な成分が残ることはありません。また、車両にはヒヌマイトンボをモチーフとしたデザインが取り入れられています。

2/18 (土) わくわく歴史ツアーでミニはにわ作り

郷土茨城町の歴史について楽しく学習する「わくわく歴史ツアー」が、町教育委員会の主催により開催されました。ツアーでは町内の小学生14人が、町の史跡「小幡城跡」や国指定史跡「小幡北山埴輪製作遺跡」を見学。小幡北山埴輪製作遺跡では、ゆるやかな斜面を利用した埴輪の窯跡を見学した後、はにわ製作について学習しました。また、講師の山中誠先生の指導により「ミニはにわづくり」にチャレンジし、思い思いにはにわを作りました。



3/2 (木) ひなまつり集会

3月3日はひなまつり。昔からの伝統を受け継ぎ、町内の各こども園や幼稚園では今年もひなまつり行事が行われました。

沼前幼稚園では、2日にひなまつり集会を実施しました。園児たちは、制作した色鮮やかなひな人形を飾り、ひなあられや草餅を仲良く食べて、楽しいひとときを過ごしました。



2/28 (火) 歩み出せ夢への第一歩 中学2年生 立志の集い



明光中学校と青葉中学校の2年生が一堂に会し、「平成28年度茨城町立志の集い」が明光中学校体育館で開催されました。

両校の生徒たちで組織された立志の集い実行委員会の委員長、川上さくらさん（明光中学校）は「今日の日を何かを変えるきっかけとし、将来の夢を持てるようにしましょう。」と呼びかけました。また、集いでは、横田琴羽さん（明光中学校）と押鴨里奈さん（青葉中学校）が、「志」を発表。両者とも職場体験を通して、自身の将来について感じたことを力強く語りました。

2/3 (金) 地球温暖化防止キャンペーンを実施

町では、地球温暖化防止・ごみの減量化・資源の有効活用の観点から、レジ袋削減の取り組みを推進しています。

その一環として、3日に町とレジ袋無料配布中止協定を締結している下記4事業者の店頭で、地球温暖化防止キャンペーンを実施しました。茨城町家庭排水対策協議会の会員や茨城県地球温暖化防止活動推進員の協力により、買い物に来た方々に啓発品を配布し、マイバック持参によるレジ袋の削減と、冬の節電推進を呼びかけました。

【茨城町レジ袋無料配布中止協定締結事業者】

- ・(株)エコス長岡店 ・(株)カスミフードスクエア イオンタウン水戸南店
- ・(株)宮城商店 ・(株)ヨークベニマル茨城町店



2/4 (土) 網掛ボランティアの会 涸沼の野鳥展を開催



網掛ボランティアの会は4日と5日の2日間、涸沼の野鳥展を開催しました。

会場の網掛コミュニティセンターには、一般の方や町民の方が撮影した作品を中心に、野鳥の写真パネルが展示され、たくさんの地域住民や親子連れが訪れました。同ボランティアの会の清水衛会長は「地元の人にもオオワシなどの姿を知ってほしいという思いから、今回初めてこの展示会を企画しました。たくさんの人に身近にいる野鳥に興味を持ってもらえたら嬉しいです。」と思いを伝えてくれました。

2/4 (土) 涸沼の豊かな自然から地域の未来を考える

茨城県と3市町（鉾田市、茨城町、大洗町）で結成された「涸沼ラムサール条約推進協議会」は、涸沼のラムサール条約登録1周年を記念し、いこいの村涸沼（鉾田市）にてシンポジウムを開催しました。

パネルディスカッションでは、同じくラムサール条約に登録されている渡良瀬遊水地（栃木県、群馬県、埼玉県、茨城県）や谷津干潟（千葉県）の各担当者と保全活動やPRの取り組みについて語り合いました。それらを踏まえ、茨城県生物多様性センター山根爽一センター長は「条約登録は始まりであり、各部門が連携して特色を生かした今後の取り組みが課題です。」と述べました。

